

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

①学校の現状と課題

本校は、大正8年度に秋田市商業学校として設立が認可され、大正9年に開校した。来る平成32年度には創立100周年を迎える歴史と伝統を誇りに、2万人を超える卒業生が県内はもとより日本全国で経済界・産業界・スポーツの場において活躍が認められている。「感謝・勤勉・鍛錬」の校訓のもと文武両道を旨とし、毎年多くの生徒が全国大会の場で活躍するとともに、積極的に学力向上・資格取得に取り組んでおり、県内商業教育の中心校としてその存在意義を示している。

②学校を取り巻く将来の状況の予想

一時期の就職難時代も、豊富な指導経験と実績を生かしながら同窓会等の協力をいただくことで乗り切り、近年は企業の採用人数も増える時代となっている。進学に関しても、概ね生徒の希望を生かしながら進路決定に結びつけることができしており、卒業後の進路に関しては順調に推移している状況である。しかし、科学技術の進歩とともに、「人間が必要とされる仕事の減少」が予想され、特に商業高校出身の人材が求められる状況にも、今後大きな変化が予想される。あわせて、少子化の問題は本校のみならず、全県的に重くのしかかってくるのが想定され、現実に入試志願倍率にも顕著に反映されていると感じている。幸い、本校を含む中央地区の高等学校では比較的高倍率を維持できているものの、今後の入学定員減少や学校統合等の可能性も視野に入れながら対応していかなければならない時代であるととらえている。

③目指す方向性や学校像

- ・建学の精神である「感謝・勤勉・鍛錬」の意味を具現化させながら、豊かな人間性、創造性、健やかな身体を養うとともに、充実した商業教育により専門的な知識・技術を習得させることで将来のスペシャリスト・秋田のビジネスを支えるリーダーを育成する。
- ・秋商キャリア教育を通して、地域社会の要請に応え、自ら学ぶ力・生きる力を身につけた、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する。
- ・社会事象についての広く深い理解と、健全な判断力を養い、コミュニケーション能力を向上させることで、秋田県内や国内のみならず、国際的にも活躍できる人材を育成する。

④5年間を通しての具体的目標

- ・年間の欠席率を減らし、年間の皆勤を200名（在籍の28%）以上とする。
- ・中途退学者を、0.5%以下とする。
- ・就職、進学とも100%達成を目指し、県内の就職率を就職者の75%以上とする。また、1年以内の離職率を5%以内とする。
- ・資格取得では、日本商工会議所簿記検定2級や全国商業高等学校協会情報処理検定1

級をはじめとし、より上位の資格取得を目指す。

- ・部活動では、所属率100%とし、運動部・文化部ともに全国大会出場を目指す。また、毎年2種目または2チームの全国優勝を目標とする。
- ・ホームページ更新を最低でも隔週火曜日に行い、情報発信の充実に努める。年間80～100回程度。

具体的な取り組み等

①秋商キャリア教育の推進

2年次に、生徒全員がインターンシップを経験するとともに、全校生徒が秋商キャリアノートを活用し、一人一人が自分の適性や能力を把握して進路選択に生かせるようにする。

②ビジネス実践やボランティア活動等を通じての地域貢献

1年次の基礎講座から、2，3年次にはAKISHOP・キッズビジネスタウン・エコロジカルビジネスに幅を広げ、3年間を通じて系統的に学べるビジネス実践学習を展開する。様々な形で地域社会と連携する実践を積むことで、専門的職業人としての資質・能力を高める。

また、ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献・地域交流をすすめるとともに、相手の気持ちを理解し行動する社会性を身につける。

③豊かな心と確かな学力

元気な挨拶や高校生としてふさわしい整容を目標に、地域とも連携しながらきめ細かな生徒指導を行う。また、基礎学力向上テストを、年間を通じて計画的に実施し基礎学力の定着向上を図るとともに、必要に応じて補習等を実施し、専門的知識技術の向上や高度資格取得、進路実現に向けて取り組む。

④部活動による学校全体の活性化

全校生徒が意欲的に部活動に取り組み、学校全体の活性化につなげる。試合結果のみならず、部活動を通じた人間形成の充実を図る。

⑤秋田商業高校の特色を生かした活動

これからも、コース別の学習を展開しながら学力向上と資格取得を推進するとともに、全国的な活躍が期待される部活動との両立を図り、活気のある学校作りをすすめる。また、ビジネス実践で社会人基礎力を高めながら、平成32年度の創立100周年記念事業の推進に向けて全職員および全校生徒の参画を促すとともに、商業高校としての在り方を検討しながらその存在意義を高め、秋田県商業教育の中心校として一層の飛躍を目指す。